

施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 **7**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	I	交流経済都市
施策名	⑥	京丹後ブランドの販売戦略

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	新井 清宏
農林水産環境部	石嶋 政博
商工観光部	吉岡 茂昭

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
なし				

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があって(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	京丹後ブランドが未だ確立していない中	京丹後ブランド商品の研究や開発を支援するとともに、丹後の魅力発信拠点の都市への整備・運営や情報の積極的な発信を図り	都市との交流を推進するとともに、京丹後ブランドの商品の開発、生産、販売促進を図る。	1 京丹後ブランドビジネス支援 2 丹後の魅力発信拠点整備 4 販売促進イベントの支援
2	交流による京丹後ブランドの認知を高めるため	市外在住者に京丹後市の魅力を発信し	交流人口の増加を図る。	3 京丹後ブランドの情報発信

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時 (H17)		後期基本計画作成時 (H20)		直近年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
	京丹後ブランドの販売促進を進めます	イベント・物産展数	15件	H16	45件	H20	53件	H24	60件	H26
	情報等PRの対象者を増やします	ふるさと応援団入団者数	新規	-	365人	H20	320人	H24	700人	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	直近年度実績値 (現状)		目標	
					年度	年度	年度	年度
	なし							

4 構成事務事業・評価結果一覧

DO

CHECK

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要							施策評価結果			
			H24決算額	H25予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性
1 京丹後ブランドビジネス支援	1 農村6次産業推進事業	農政課	1,537	2,689(2,689)	市規定	単費	○	サービス	事業者	直・委・補	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
	2 京丹後産品市場開拓トライアル事業補助金【方針4にも該当】	商工振興課	693	-	なし	単費	○	サービス	事業者	補	3	個性魅力	1	A	終了・廃止
2 丹後の魅力発信拠点整備	1 京丹後ブランド「チャレンジショップ」運営事業補助金【方針4にも該当】	商工振興課	3,800	2,660(1,360)	なし	単費	○	サービス	事業者	補	3	個性魅力	1	A	現状維持
	「特産品ショップ・ホッと丹後」の運営、販路拡大・PR事業の実施に対し補助(販売実績15,239千円)														
3 京丹後ブランドの情報発信	1 京丹後ふるさと応援団運営事業【再掲】I-①	企画政策課	1,331	1,223(903)	市規定	単費	○	サービス	他	直・委	3	個性魅力	2	A	現状維持
	ふるさと応援団登録者(320人)へ情報提供、「ふるさと応援大使」(221人)を委嘱、団員交流会を開催														
4 販売促進イベントの支援	1 京丹後産品市場開拓トライアル事業補助金【再掲】方針1	商工振興課	693	-	なし	単費	○	サービス	事業者	補	3	個性魅力	1	A	終了・廃止
	丹後地域地場産業振興センターが取り組むトライアル事業の産品輸送の運送料と検証にかかる旅費に対して補助金を交付														
	2 京丹後ブランド「チャレンジショップ」運営事業補助金【再掲】方針2	商工振興課	3,800	2,660(1,360)	なし	単費	○	サービス	事業者	補	3	個性魅力	1	A	現状維持
	「特産品ショップ・ホッと丹後」の運営、販路拡大・PR事業の実施に対し補助(販売実績15,239千円)														
	計		6,030	5,349(4,049)											

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

5. 歳出抑制の考え方について

ACT

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成26～28年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	農村6次産業推進事業において、事業費(旅費、需用費、委託料)を縮小する。	500千円	

予算科目	06農林水産業費	01農業費	02農業総務費	03農村6次産業推進事業
細事業名	01 農村6次産業推進事業			決算書 P.210
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,537千円		1,547千円	10千円	99.3 % 1,877千円
目的	本市の基幹産業である農林水産業の6次産業化を積極的に推進し、農家等の所得の向上や経営の安定を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>専門委員（京都吉兆代表取締役社長徳岡氏）を委嘱して、丹後の里・山・海の豊富な食資源を活用したメニューを開発・発掘し、丹後の地酒と組み合わせるなどの方法により、丹後の豊富な食資源を内外に発信するため、その基盤づくりとして、食と酒のマッチング勉強会やフォーラムを市内で開催した。</p> <p>また、都市部の商工業者とのマッチング会への参加の促進や、6次産業に意欲のある農家等に補助金を交付し、販路の拡大及び新商品の研究・開発の支援を行った。</p> <p>〈6次産業推進事業の主な内容〉</p> <p>①京丹後の食の魅力発信の取り組み 「食と酒のマッチング実感！試食会」 日時：9月11日、場所：丹後あじわいの郷・市内酒蔵、参加者数：42人 「体験実感！丹後あじわい食フォーラム」 日時：10月21日、場所：丹後あじわいの郷、参加者数：84人</p> <p>②北近畿地域の農林水産物等を対象にした商談会（近畿農政局・京丹後市共催） 開催場所：アグリセンター大宮、7月25日、51事業者参加</p> <p>③6次産業化支援事業補助金（補助金交付件数：4件） 補助対象加工品：生姜の粉末、ドライフルーツ、九条ネギの漬物、焼き芋の真空パック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬（政策企画委員1人） 100千円 ・旅費（マッチング会及びフォーラム参加に係る費用弁償、職員出張旅費） 66千円 ・需用費（マッチング会及びフォーラムに係る消耗品） 44千円 ・委託料（イベント企画運営委託料） 262千円 ・使用料及び賃借料（有料道路通行料） 29千円 ・負担金、補助及び交付金（6次産業支援事業補助金） 1,036千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>京都「丹後・食の王国」プロジェクトとして京都府とともに取り組んだ食の魅力発信の取り組みは、市内における発信及び基盤づくりを図ることができ、翌年度以降の都市部における魅力発信事業へとつながるものとなった。さらに、都市部の商工業者とのマッチング会参加や加工品の開発・販売等を支援することにより販路拡大等につながった。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02ふるさと産品販売促進事業	
細事業名	04 京丹後産品市場開拓トライアル事業補助金			決算書	P.240
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
693千円		694千円	1千円	99.8%	0千円
目的	首都圏での地場産品販売にかかる経費を支援し、市場参入時の競争力を高め、また販売戦略の確立と京丹後ブランドの知名度向上を図る中で、首都圏市場を開拓・拡大していく。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが、日本最大の農産物チェーン店「わくわく広場」との提携により、トライアル事業として首都圏で京丹後産品の販売に取り組むにあたり、参入時の市場競争力を強化するとともに、販売を継続できる仕組みを検証・構築するため、トライアル期間の産品輸送にかかる運送料と検証にかかる旅費に対して補助金を交付した。</p> <p>○京丹後産品市場開拓トライアル事業補助金 693千円</p> <p>【トライアル事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：平成24年10月～平成25年3月 ・取扱商品：地場産品（農産物、加工品等） ・販売店舗：「わくわく広場」の首都圏8店舗 ・補助対象経費：廃棄・値引き販売された産品の輸送に係る運賃 現地検証にかかる旅費 <p>【トライアル事業実績（6か月間、8店舗合計）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄・値引き販売産品にかかる運送料 対象貨物数：348個口、運送料193,200円 ・旅費 回数：7回・人、旅費550,450円（うち、補助対象額500,000円） <p>《参考》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売点数及び売上 販売点数：26,607点、売上：5,563,717円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○首都圏での販売における価格設定のあり方や売れ筋商品の見極め、流通や表示等の問題点について検証・分析を行い、継続可能な流通・販売体制を構築することができた。</p> <p>○トライアル期間を通して販売店舗の拡大と生産者の開拓を行い、京丹後産品の首都圏での市場開拓・拡大が実現した。</p>				
事業所管課	商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02ふるさと産品販売促進事業	
細事業名	02 京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金			決算書	P.240
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,800千円		3,800千円	0千円	100.0%	3,800千円
目的	他市町とも連携しつつ、「特産品ショップ ホット丹後」を起点とした都市部における丹後の情報・魅力の発信と、丹後産品の販売促進、販路拡大を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>丹後の情報・魅力発信拠点施設（アンテナショップ）である「特産品ショップ・ホット丹後」が行う、京丹後市のPR、ブランド品の紹介、販売促進、販路拡大等を図るための事業運営に対し、補助金を交付した。</p> <p>○京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金 3,800千円</p> <p>【実施状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホット丹後会員数 2,474人（平成25年3月末現在。前年比409人増） ・購入者数 年間 延べ17,116人 月平均 1,426人 ・販売実績額 年間 15,239千円 月平均 1,269千円 ・常設店舗外での販路拡大、PR事業（サテライト販売） <ul style="list-style-type: none"> KBS京都朝市 毎月1回 丹後のええもんうまいもん展in京都（A-COOP洛西大枝店） KBS京都マルシェ こだわりマルシェ Bivi二条 Cocon烏丸こだわりマルシェ 弥栄町人会定期総会 味職クラブ京都物産展（神奈川県川崎市、海老名市） ・その他PR事業 <ul style="list-style-type: none"> 10/20・21 会員対象「丹後ツアー」の実施（参加98人 参加費3,500円） 海岸線ドライブ、丹後あじわいの郷（散策、パンづくり体験）ほか ・生産者による店頭販売 10業者 149回 <p>≪参考≫他市町補助額 700千円（宮津市400千円、与謝野町300千円）</p>				
	主な財源	府補 未来づくり交付金（京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金）			
評価・課題等	<p>○都市と丹後を結ぶ丹後の情報・魅力発信拠点として周辺地域住民に認知され、ホット丹後会員数も年々増加している。また、常設店舗外での販売や生産者によるホット丹後店頭販売も積極的に行い、新規顧客の獲得や情報のフィードバックによる魅力ある商品づくりにつながっている。</p> <p>○ホット丹後会員を対象にした丹後ツアーの実施等、丹後の情報・魅力を発信する取組を積極的に行い、都市部における京丹後市と丹後産品の認知度やブランド力を向上させることができた。</p> <p>○自主運営を目指し、より効率的な店舗運営の検討が求められる。</p>				
事業所管課	商工観光部／商工振興課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	05定住・交流促進事業
細事業名	01 京丹後ふるさと応援団運営事業			決算書 P.86
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,331千円		1,444千円	113千円	92.1 % 1,444千円
目的	本市に愛着、興味又は関心を持つ本市出身者や本市への訪問者等が参加する京丹後ふるさと応援団を運営し、総合計画で掲げる交流人口の増加及び定住の促進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>本市の魅力为全国に発信し、交流人口の増加と定住の促進を図ることを目的に、本市に愛着、興味又は関心を持つ本市以外に在住する方を対象に、申込者を団員として登録し、年4回の会報誌等の送付により本市の情報発信を行った。</p> <p>また、団員の中で協力いただける方を「京丹後ふるさと応援大使」に委嘱し、本市のPRと団員の拡大に努めた。更に、団員の交流と意見交換を目的に、京都市内で団員の集い「団員交流会」を開催した。</p>			
	<p>○ふるさと応援団（平成25年3月31日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応援団員数 320人 ・ ふるさと応援大使数 221人 ・ 市内協賛店数 49店 <p>○事務経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名刺台紙増刷（23,000枚分） 123千円 ・ 名刺印刷費 115千円 ・ 会報誌等発送郵便代・メール便代 69千円 ・ 入団費払込料金取扱手数料 31千円 ・ 会報誌作成委託料（4回発行） 878千円 ・ 消耗品費等 12千円 <p>○団員交流会</p> <p>開催日：平成25年2月17日 団員参加人数：48人</p> <p>場 所：京都市 ホテルセントノーム京都</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団員交流会旅費及び有料道路通行料 24千円 ・ 団員交流会PR資材等 30千円 ・ 会場借上料 49千円 			
主な財源	諸収入	京丹後ふるさと応援団入団費	288千円	
評価・課題等	<p>○ふるさと応援大使に京丹後市内の名所を印刷した特製名刺を配付してもらい、全国各地で京丹後市の魅力をPRした。これらのPRをきっかけに来丹、団員登録された方もおられるほか、京丹後市と現住所との二地域居住を始める応援大使もあるなど、交流人口の増加等に一定寄与した。</p> <p>○会報誌による定期的な情報発信や市内協賛店で割引等特典を受けられるなど、本市を訪れるきっかけづくりをしているが、団員数の維持・増加が課題となっている。</p>			
事業所管課	企画総務部／企画政策課			